

2022年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

科コード GF1	科名 帽子デザイン科1年	単位	2単位
科目コード 305010	科目名 ハンディクラフト I	授業期間	通年

担当教員(代表)：白戸 薫

共同担当者：

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 各種のクラフトテクニックを、エンプロイダリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。
 特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリ等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。
 併せて、学習したテクニックが使われている実際の商品などの資料を集め、ブックの形式で完成させる。
 それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

*エンプロイダリー

- ・カラーエンプロイダリー 刺しゅうの中で、代表的な色糸刺しゅうの基本的なステッチの実習(3)
- ・ステッチの応用 ボリュームのあるステッチの実習 より多種多様なステッチの習得(1)
- ・キャンバスワーク 基本的なステッチを用いながら、織り糸を数えて刺すテクニックの実習(2)
- ・コードエンプロイダリー 紐状のものを布に止め付けていくテクニックの実習(1)
- ・ビーズ/スパングルエンプロイダリー 服飾素材の扱い方の基本テクニックの実習(1)
- ・ミラーワーク ミラーの止め付け方のテクニックの実習(1)
- ・ビーズ/スパングルエンプロイダリーの応用 オリジナルの図案をデザインしモチーフを制作(1)

*布の加工

- ・アップリケ 布を切り貼りするテクニックの実習(1)
- ・ファンシーブリーツ 布を折りたたみ装飾を施すテクニックの実習(1)
- ・スモッキング ベーシックスモッキングのうち柄布(ギンガム)を使ったテクニックの実習(1)
- ・カットワーク 布にステッチをして切り抜き、透かし模様を表現するテクニックの実習(1)
- ・フリル/ギャザー/ヨーヨー ファブリック マニピュレイティング(布加工)の代表的な
 テクニックの実習(1)
- ・ドロンワーク 糸抜きした部分にかがりを入れ、透かし模様を表現するテクニックの実習(2)
- ・リボンワーク 幅広いテープ状のものを装飾的に加工するテクニックの実習(1)
- ・ラティススモッキング 布を裏面からつまむことによる陰影の表現のテクニックの実習(2)
- ・イタリアンスモッキングレリーフライクな布の表現のテクニックの実習(1)
- ・キルティング 布を部分的にふくらませて、レリーフ状に加工するテクニックの実習(2)
 イタリアンキルティング/イングリッシュキルティング

*レース

- ・マクラメ 紐やコードを手で結んで模様を表現するテクニックの実習(2)

*ブックの制作 学習した技法の総括として、資料と共に構成する(1)

評価方法・対象・比重

制作物の評価にブックの採点をプラス

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸

参考図書

その他資料 各種技法サンプル 講師作成プリント類

記載者氏名 白戸 薫

授業の特徴と担当教員紹介

ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに指導。クラフトテクニックをエンブroidリーと布の加工に大別し、基礎テクニックを幅広く習得する。帽子・バッグ・シューズ・アクセサリ等のグッズ制作に応用することをイメージしながら実習する授業を実施

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 帽子デザイン科 2年	単 位	2単位
科目コード	科目名 ファッショングッズデザイン画 II	授業期間	通年

担当教員(代表) : 河西 恵美子	共同担当者 :
-------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッショングッズデザインワークのうえで即戦力として使えるデザイン画の習得と強化。就職活動に活用できるポートフォリオの一端となる課題作成、及び企画力を目指して。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

[ポートフォリオ作成] …3コマ

●マイコレクション

…個々のポートフォリオ作成を実物一作品の構成を通して、デザインプロセスから実物製作の過程やづくりの取組が見えるレイアウトであるよう指導、実物一作品デザインにバリエーション2点作成

[創作デザイン及び企画構成] …デザイン発想の資料収集と探求、バリエーションデザイン表現の強化

●フォルム研究 …4コマ

…異素材とのコラボデザイン展開や新たな素材使いのデザイン研究と、興味深い形状のディテールのフォルム等をイメージに造形をデザイン

●素材構成研究デザイン …3コマ

●コンテスト応募作品 …3コマ

●装飾表現デザイン …羽根や毛皮素材と装飾素材を用いたデザイン表現 …4コマ

●アーティストの絵から発想 …色彩とイメージをデザイン表現に …3コマ

●グッズアイテムデザイン 30 …企画スタイルにて30点のアイテム図構成 …5.5コマ

[時間内課題] …2.5コマ

●時間内演習課題

●前期と期末デザイン画試験

【評価方法】 [S~C・F評価]

評価基準 : 学業評価80% (課題作品提出物と前期と後期末試験)、授業姿勢20% (出欠状況, 授業態度を考慮)

主要教材図書 : 特になし

参考図書

その他資料 : その他資料 : ファッション雑誌、著名アーティスト作品写真等

授業の特徴と担当教員紹介

[特徴]…個々のオリジナル作品集の効果的な構成の習得。ファッショングッズの新たなアイデアをデザイン表現し、活用できる企画構成の一端を語る。

[担当教員]…学院のF・デザイン専攻科卒業後、専任講師として勤務。その後、ジュエリー会社にてデザイナーを経て、現在非常勤講師として勤務。

記載者氏名 河西 恵美子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF11	科名	帽子デザイン1年	単位	1単位
科目コード	902000	科目名	西洋美術史	授業期間	後期

担当教員(代表) : 加瀬浩嗣	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

西洋美術の歴史を通して、様々なアーティストの技法や思想、そしてその時代から見える制約や影響などをどのように作品に反映してきたかを考察する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 西洋美術史とは
2. 西洋美術史(1) 原始美術 古代メソポタミア・古代エジプト・ギリシャ・ローマ
3. 西洋美術史(2) 中世・・・キリスト教ビザンティン・ロマネスク・ゴシック
4. 西洋美術史(3) ルネサンス・マニエリスム
5. 西洋美術史(4) ルネサンス・マニエリスム
6. 西洋美術史(5) バロック・ロココ・転換期の先駆者たち
7. 西洋美術史(6) 印象派・象徴派・野獣派
8. 西洋美術史(7) 課題「好きな西洋画家の作品を考察」
9. 西洋美術史(8) プレゼンテーション
10. 西洋美術史(9) キュビズム・抽象主義
11. 西洋美術史(10) エコール・ド・パリ・アールヌーヴォー・アールデコ・シュルレアリスム
12. 西洋美術史(11) 現代
13. 西洋美術史(12) 現代

【評価方法】

課題や発表、出席等

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

商品のパッケージデザイン、広告デザイン、空間デザインなど様々な企業のデザインを手掛けてきた活動経験をもとに、デザインの基本を踏まえながら西洋美術史を解説し、作品のデザインに生かす授業を実施。

記載者氏名 加瀬浩嗣

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 帽子デザイン科2年	単位	1
科目コード	科目名 現代ファッション論	授業期間	後期

担当教員(代表)：関谷 麻美	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など
 各メゾンの誕生から特徴、ポリシーなど、ハイブランドを含んだファッションブランドについての知識を深めることにより、専門科目のデザインの幅を広げ、就職後の帽子業界でその知識を活かせるようにする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- ・ファッションクリエイターにについての知識を深め、そのスタイルのもとを知る。

《 モード史 》

- ・ CHANEL
- ・ DIOR
- ・ SAINT LAURENT
- ・ BALENCIAGA
- ・ GIVENCHY
- ・ SWINGING 60' S
- ・ 70' S London& New York
- ・ 80' S Paris
- ・ 90' S Paris
- ・ 90' S Milano
- ・ 80' S 日本人デザイナーの台頭
- ・ 2000年以降のデザイナーについて
- ・ Hermès

評価方法・対象・比重
 出席、授業態度を重視(レポート提出含む)

主要教材図書
 参考図書
 その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
 ファッション誌編集者・ジャーナリストとしての国内外での豊富な実務経験を生かして、各メゾンの誕生から特徴、ポリシーなど、ハイブランドを含んだファッションブランドについての知識を深めることにより、専門科目のデザインの幅を広げ、ジュエリー業界でその知識を活かせる授業を実施

記載者書名欄 関谷 麻美